

広報 すたかのす

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可(1部16円)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係

電話(2)-1111

発行日 毎月1日・15日

印刷所 徳成文社印刷所

〈町民憲章〉

郷土を愛し 力をあわせ
楽しい町をつくります

No.327・51・1・1



新年のごあいさつ

町長 出川 礼一

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

低成長下の五十年は、文字通り深刻な不況に覆われ、地場産業は総じて需要の減退と価格底迷により、経営の危機に立たされ、その波及は他産業は勿論、商業および求人不足を招き、町民生活が大きくおびやかされました。また、八月の集中豪雨による水害は、住宅、農地、農業施設、河川治水等に大損害をもたらしました。

しかし、町行政は皆さまをはじめ、関係機関、団体等のご指導ご協力により、順調に推移いたしました。

新しい年を迎えるにあたり、不況下のきびしい現実をふまえ、本町の限られた行財政力をフルに行使し、国県等の協力を得ながら地域なりの不況克服を進めたいと思っています。

特に、水害復旧には早期着工、早期完工をめざし、事を運び、今泉地区の米代川築堤および客土事業を含めた圃場整備には、年内完工を強力に働きかけてまいります。

また、国道一〇五号バイパスの早期着工、公有林地の造林事業のスタート、町道の改良舗装の促進、上水道の給水区域の拡大と加入の推進、農業をはじめ商工業の安定成長対策への具体化等、町財政の長期的健全性を貫きながら進めてまいりたいと考えております。

本年も皆さまのご理解あるご参加により、住みよい豊かな郷土の建設を進めたいと存じますので、特段のご指導をお願い申しあげます。

最後に、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申しあげます。

昭和五十一年 元旦

智



正

12月定例町議会

町議会議員の定数減を可決

＝ 4人減らして30人から26人に ＝



▲12月定例町議会

▼町議会の議員の定数を減少する条例制定について
町議会の議員定数三十人

三月の選挙から適用

を四人減らして二十六人とする
ことに付いて議員提案で提出され、賛否討論のあ

第七回定例町議会は、十二月十五日から二十三日までの九日間の会期で開かれ、一般会計および特別会計補正、条例改正、請願、それに継続審議となっていた昭和四十九年度各種会計決算の認定など、三十二件の議案を提出、それぞれについて審議の結果、三十一件を決定、陳情一件を継続審議として関係委員会に付託閉会しました。
なお、注目されていた議員提案による町議会議員の定数減は原案どおり可決となり、三月に執行される町議会議員選挙から、現在の三十人から四人減の二十六人となりました。
十二月定例会で審議した議案は次のとおりです。(関連記事は七面まで)

一般会計

27億3千百34万8千円に

と、無記名投票で採決の結果、賛成十四票、反対十三票で可決されたものです。
この結果、この三月に行われる町議会議員選挙から議員定数は二十六人となります。

一般会計の補正予算

一歳出
三億二千三百四万円を補正
歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ三億二千三百四万円を追加、歳入歳出それぞれの総額は二十七億三千三百三十四万八千円となりました。

補正した歳出の主なものは次のとおりですが、各款にわたる人事院勧告等による給料、共済などの人件費の補正は総額で四千二百万円となっておりますので、各款の説明からはのぞきました。

町議会議員選挙費を補正

総務費は、一千八百八十八万九千円を追加。

主なものは、ゼロックス百万円、建物保険料百八万一千円、太田児童館ブロック工五十万円、町議会議員選挙に四百六十七万円。

児童措置費に、六千一千四百余万円、四百八十三万二千円を追加。

主なものは、児童措置費一千四百五十八万六千円、七日市保育園建築補助一千万円、吉野学園建設補助五百万円、施設整備資金貸付金一千万円、八月二十日災害による明利又移転十一戸分補助金一千百万円および脇神部落会館五十万円と、横渕会館十萬円。災害危険住宅移転貸付金八百五十万円。

衛生費は、四百五十万四千円を追加で、主なものは環境衛生に四十九万円、塵芥処理に十萬九千円、緑ヶ丘簡易水道工事に五十万円。

農業、林業、請負耕作事業費は、事業費は、業に三百万円、一千七百七十九万七千円

の追加。
主なものは、豚コレラ予防四十九万円、導入牛返還金六百五十三万九千円、鷹巣請負耕作事業三百万円、林業関係五十七万円。

町長日誌

12月1日～12月15日

1/5日 上京

全国治水砂防促進大会・砂防事業拡大中央陳情

全国町村長大会

災害復興事業全国促進大会

鉄道新線建設促進協議会全国大会

その他各府庁へ陳情

上野橋竣工式

教育懇談会

郡町村会財政問題協議会

知事、全県町村長行政連絡会議

鷹巣材親会山神祭

横渕部落舗装工事竣工式

林業振興班全体会議

町議会本会議

商工従業員パーテイ

議会日誌

12月1日～12月15日

昭和四十九年度決算特別委員会

上野橋竣工式

教育民生常任委員会

鷹巣町材親会山神祭

議会運営委員会

町議会本会議

▽商工費は、百三十一万五千円の追加で、商業調査補助百円。

土木費は、除雪費に一千二百四十七万五千円を追加。

主なものは、除雪費用として一千三百三十八万八千円、原材料百円、橋梁工事百七十三万二千円、舗装工事七百万円、摩当地区U字溝七十万円、用途地域百四十万、町営住宅物置五十九万。

▽消防費は、八百三十七万円の追加で、主なものは広域消防負担金八百三十万。

▽教育費は、一千三百二十五万五千円の追加で、主なものは用務員賃金四十二万二千円、修繕料三十万八千円、東小スキー三十万、保健体育諸補助四十一万。

災害復旧に一億 旧費は、七千六百余万円 一億七千六百十七万一千円の追加。

主なものは、農業用施設災害復旧に九千四百三十六万三千円、内、設計委託料四百四十四万八千円、工事費は五十万。農地災害復旧は八百八十八万八千円、内、設計委託料六百八十三万二千円、工事費六千九百二十六万八千円。事務補助費六百五十四万六千円、需要費百十四万三千円。

【歳入】

歳入は、▽自動車重量課与税八百万円、▽自動車取得税交付金一千万円、▽地方交付税五千二百四十二万六千二百八十八円、▽国庫支出金六百三十八万三千円、▽県支出金一億四千七百九十三万七千円、▽繰入金四百三十二万四千円、▽町債六千七百七十九円をそれぞれ追加、▽財産収入四十六万八千円、▽諸収入十五万円をそれぞれ減額。以上が、一般会計十二月補正の概要です。

決定した特別会計

▽七日市財産区会計補正予算 四千三百八十八円を追加、歳入歳出それぞれの総額は二千六十七万八千円になりました。歳入は、立木売却百五十三万八千円と前年度繰越金二百五十万。歳出は、人勤による給与費二十三万三千円、造林費二十万一千円、分収金百六十六万六千円、一般会計繰出二百五十万。

▽綴子財産区会計補正予算 六十四万四千円を追加、歳入歳出それぞれの総額は一千五百八十四万五千円。歳出の主なものは、人勤による給与費三十一万四千円、造林費十二万。

▽栄財産区会計補正予算 百六十一万六千円を追加、

歳入歳出それぞれの総額は一千三百三十五万六千円になりました。

歳出の主なものは、造林費三十四万八千円を減額し、一般会計繰出金百七十五万四千円。

▽坊沢財産区会計補正予算 十四万円を追加、歳入歳出それぞれの総額は二千五百二十三万三千円となりました。歳出は、全額一般管理費。

▽国保会計補正予算 四十六万八千円を追加、歳入歳出それぞれの総額は五億四千二百五十二万一千円。歳入は、国庫事務負担二十五万九千円、保健婦補助六万六千円、繰越金十四万三千円。歳出は、人勤による給与費。

▽綴子簡易水道会計補正予算 五十三万七千円を追加、歳入歳出それぞれの総額は二千六百四十九万一千円。歳入は、全額前年度繰越金。歳出は、人勤による給与費に三十七万七千円、その他旅費、需要費に十六万。

▽水道事業会計補正予算 収益的収入および支出の予算額は、収入を十萬一千円減額し、支出を十六万四千円補正し七千七百一十一万六千円になりました。

資本的収入および支出の予算額は、収入を十五万円減額し百五十万五千円に、支出は四百四十二万四千円補正し六百七十九千円になりました。

決定した議案

▽自動車等の臨時運行許可標識交付手数料徴収条例を廃止する条例の制定について 辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定について この議案は、今後五年間岩谷、大沢、三の渡、黒沢蟹沢の五辺地に係る主として道路整備に有利な辺地対策事業債を充たさせ、生活環境を高めるものです。

▽鷹巣町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 消防団員の定員四百六十七人以内を、四百四人以内に改正。

▽物品購入契約の締結について ローターリー除雪車(川崎



重工社製)一台を一千三百七十五万二千円で購入。

▽一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告にもなう一般職の職員の給与および諸手当の改正。

▽秋田県市町村職員退職手当組合規約及び交通災害共済組合規約の一部を変更する規約について 財産の処分について 坊沢財産区有地原野七千三百十九、五二平方メートル、二千六百五十万円を県北自動車学校取締役社長知野次郎に売却。

▽町道路線の認定について 大堤宅地造成地内二千七百六十二、一、津沢四号、五号線七百四十、田中三三線百八十、湯車大沢線線二百五十、あけぼの町一五、三三線一千五百五十五。町営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について

▽町営住宅の新築による戸数の変更で、二百六十八戸から三百二戸に変更。

内訳は、第一種簡易耐火平家建三十四戸、第二種同四十四戸、第二種木造平家建百十四戸、合計三百二戸。

▽字界の変更について 町営宅地造成事業施行による字界の変更で、綴子字大堤家後の一部が綴子字前

野に変更。 工事請負変更契約締結について 八月五日堀井組堀井三治郎と締結した林構林道開設工事の契約額一千七百五十九万円を、一千七百九十五万七千円に変更契約。

採択となった請願 (一)内は、請願者

▽学校給食に関する陳情書(秋田県学校給食推進振興会 長 山崎良造ほか四名) 商工会に対する助成措置の陳情書(鷹巣町商工会長 青木清)

▽観光協会に対する助成措置の陳情書(鷹巣町観光協会 長 青木清) 排水溝整備に関する陳情書(東仲通常会長 保立了ほか一名)

▽南田中地区環境整備に関する請願書(南田中町内会代表 渡辺勝蔵ほか四名)

不採択となった請願 道路敷地利用料についての陳情書

▽鷹巣南中学校新築並びに附帯施設の整備についての陳情書 継続審議となった議案 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について

出川町長行政報告

災害復旧や財政問題など

出川町長は、十二月定例町議会において財政問題、事業の進展状況、八月二十日の災害復旧対策などおおよそ次のように報告しました。

十二月定例町議会が開会されるにあたり、九月定例会以降の行政の概要と今後予定される事業等について、その大要をご報告申し上げます。

財政状況について

国税三税の落ち込みから地方交付税の延び率も少なく、普通交付税の再算定の結果、八億七千六百万円（四十九年度比百六・四％）が予定されるも、今後特別交付税に期待し、本町の場合、災害等の関係から昨年度（三十九百万円）を上回るものと思われるが、大きな期待ができない状況にあります。

一方町税においては、最終的に九百万円程度の延びが見込まれ、起債関係では辺地債が全額許可になり、一般単独事業債も期待どおりに認められる予定であるので、予定される事業は変更なく完成できる見込みであります。

また、今回の人事院勧告に基づき職員給のアップも、本給で二千七百五十四万四千円、

諸手当一千七百五十七万円、諸負担金五百十六万五千円、計五千二十七万九千円であり、普通交付税未計上分り二千五百万円を予定し、人事院勧告による職員ベースアップの実施もできる見込みで、本議会にそれに関連する条例案を提案いたします。

五十年産米は史上最高

本年産米は順調な天候に恵まれ、特に登熟期の好天により、当初の指数を上回り百七に達し、八月二十日の集中豪雨による災害地を除いては、史上最高の豊作となった。

また、産米の出荷状況は、事前売渡中に限度数量十八万六千俵（一万八千三百八十）に対し、これまでの超過米実績は二万六千八百俵（一千六百八十）、十四・八％上回っております。

この超過米の処理について

具体的な通達が未だ入っておりませんが、自主流通米の取り扱いが主体となるものと予想せられ、農業団体と協力のもとに処理にあたるつもりであります。

山村振興事業について

五十年度の山振事業として、七日市農協が事業主体となり進めてまいりました長いも冷温貯蔵所は、八月十八日着工中のところ十一月十日竣工し、貯蔵出荷体制に入っております。

林業構造改善事業について

林業構造改善事業として、本年度は高度集約地経営促進事業を取り上げ、町が事業主体となり、坊沢地区横道沢林道新設工事（延長一千三百六十、巾員四、工事費一

五十年災害査定

六億六千八百万円を超す

本年四月から八月まで発生した農林災害については、十一月末で査定を終りましたが、その内訳は、農地復旧百二十二カ所二億三百九十九万二千円、農業用施設百七十七カ所三億六千万六千円、林業施設七カ



▲50年産米は史上最高の豊作



▲8月20日災害は、緊急度の高いものから順次復旧工事に着手しています。

所五百六十七万二千円、合計三百六十八万五千円に達しております。復旧進度については、今後の補助の割当等にもよりますが、緊急度の高いものから順次計画を立て、実施したいと考えております。

また、農地復旧については早期発注により復旧を計り、明年耕作に支障をきたさないよう配慮してまいります。補助率については、激甚災害の指定を含めて高率補助（施設災害九十％以上、農地災

害八十五％以上）を受くべき、その資料の作成に鋭意作業中であります。

公共土木事業の査定も十一月末で終了、四十二カ所一億五千二百七十七万二千円が採択となりましたので、これが復旧については、橋梁、道路を優先的に工事を進めてまいります。

また、八月の豪雨による被害を受け、農家の経営資金の必要者に対しては、天災融資法が適用されることになりました。

舗装工事 二十路線完成

当初予定した道路改良事業は、ほとんど発注済で大部完成しましたが、未完成の分についても期限内完成をめどとして努力中であります。

舗装新設工事も、二十路線発注されましたが、いずれも完成されました。

上野橋も十一月末完成供用開始しており、その他の橋梁も完成しました。

公園事業として、大堤前野児童公園も植樹、張芝を残しておりますが、冬期を控え、応じ事を中止し、消費後再開完成の予定であります。

南鷹巣団地に建設中の公営住宅十四戸は十月末完成、十一月十三日供用を開始しました。

明利又から 十一戸移転

八月二十日災害に伴う明利又地区の罹災者中、五十年度に移転する者は十一名で、内九名が大堤宅造団地へ、内二名は南鷹巣住宅団地へ年度内に住宅建築完了をめざして工事を進めております。

また、移転事業計画の内容は、土地購入費一千二百五十万四千円、建築費六千二百三十五万九千円、総額七千四百五十三万九千円ですが、内

補助金一千百万円、県の貸付金八百五十万円、公庫資金四千四十万円、県住宅資金一千万円となっております。

カドミ公害について

九月二十二日より三日間、米代川流域地帯百八十六ヵ所より立毛玄米を採取し、県公害センターで分析したところ汚染米一、準汚染米二十三検体発表があり、計二十四ヵ所についてカドミ含有米取扱要綱によって処理されました。今泉地区産米は、ロット方式で調査の結果、ロット一百五十、俵が準汚染米として処理されました。

予防接種は予定 どおり完了見込

各種予防接種は、諸般の事情により六月から中断しておりましたが、医師会との話し合いで契約を更改し、十月中旬より再会し、本年度予定の各種予防接種は完了できる見込みであります。

公害検診については、十一月二十六日から土壌汚染地域住民五十歳以上を対象に実施しておりますが、受診率が低いので今後の検診には受診率の向上に努めてまいります。

検査結果によっては、今後第二次検診等も行う予定であります。



▲各種予防接種は予定どおり完了の見込みです。

一昨年から要精密検査該当者一名については、去る十月秋大医学部附属病院に入院せしめ、十日間の検査が行われましたが、結果は十二月末でなければ判明しないとのことあります。その他、成人病関係結果検診等は予定どおり行われております。

国勢調査人口について

十月一日実施された国勢調査人口は、十一月十日県発表の概要で本町の人口二万四千七百四十二人と公表されました。

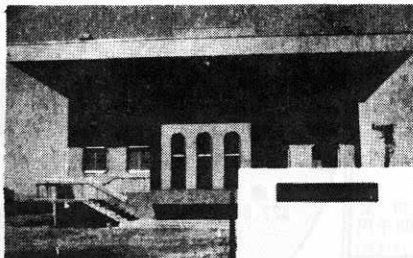
これを前回の昭和四十五年と比較すると、その減少率は二・六％（六百四十八人）にとどまることができました。ちなみに、全県では〇・七％、北秋田郡では六・二％の人口減となっております。

入園希望者が増加 西保育所を増築

西児童館に併設されている保育所は、入園希望者が年々増加の傾向にあり、また狭隘でもあるので今回保育室を増築することとなり、百二十、七、三平方メートル（二六・八八坪）を十一月発注、明年一月十五日完了予定であります。

なお、新年度より定員五十名で、へき地保育所として発

▲増加増加が望まれる上水道



上水道事業について

上水道事業は、現在三十件の給水計画に対して、工事申し込み件数二千五百十三件（八十三・八％）、給水件数一千七百八十六件（五十九・五％）となっており、逐次計画に近づいてきているが、経営状態が好転せず、経費の節減、業務の合理化に努めています。が、量水器、修理用の予備品等の購入備蓄も必要であるので、苦しい財政状態にある今後加入者の増加と給水範囲の拡大、および場合によっては、一般会計からの援助を得なければならぬと思われる。

縦子簡易水道について

縦子簡易水道は、需要水量の増加と既設水源地からの濁

流入等があり、根本的に改善を要することから、このたび取水井戸工事（六十五万円）、配水池（五百五十万円）、その他関連工事（百万円）、ポンプ（二百三十六万円）を発注し、二月末完成をめざし目下工事中であります。

○中央公園は、町民有志の協力によって年々整備されてまいりましたが、本年護岸工事二十回の鉄線蛇かごで補強工事を行い、また十一月二十二日にはへらぶな十一ト（約一万五千匹）を放流しました。

食肉センター処理 頭数増加の見込み

食肉センターの利用頭数は、昨年に比し十一月末まで約三千頭の減少をきたしているが、フリマハムへの移出減と地元消費の鈍化が原因であるが、能代市内の養豚業者秋田ファームは十一月から同センターを利用して、年度末までは約一千二百頭が処理される見込みであります。

また、近く敷地内に業者による食肉カットセンターの建設が予定されているので、これが実現後は処理頭数の増加と生産者の販路の開拓ともなるので、これが実現を期待しています。

○以上が、十二月定例町議会において出川町長が発表した行政報告です。

昭和49年度決算報告

きびしい財政の中で黒字決算

＝ 一般会計 1億9百74万4千円を繰り越し＝

昭和四十九年度一般会計および特別会計の決算が十二月定例会で認定されましたので、そのあらましを報告します。

一般会計の概況

一般会計の決算額は、歳入が二十四億八百七十九万九千八百八十三円、歳出二十二億九千九百五十五万五千三百九十九円、差引残額が一億九百七十四万四千四百四十四円となり、五十年度に繰越しました。

(歳入)

歳入は、地方交付税(国からの交付金)の八億六千二百四十六万八千円をトップに、以下、町税三億九千九百三十二万四千円、国庫支出金二億二千二百六十六万四千円、県支出金二億一千二百三十六万九千円、町債(国から長期低利の借入金)一億七千六百八十八万八千円が歳入に占める(一億円以上)割合の多いものです。

(歳出)

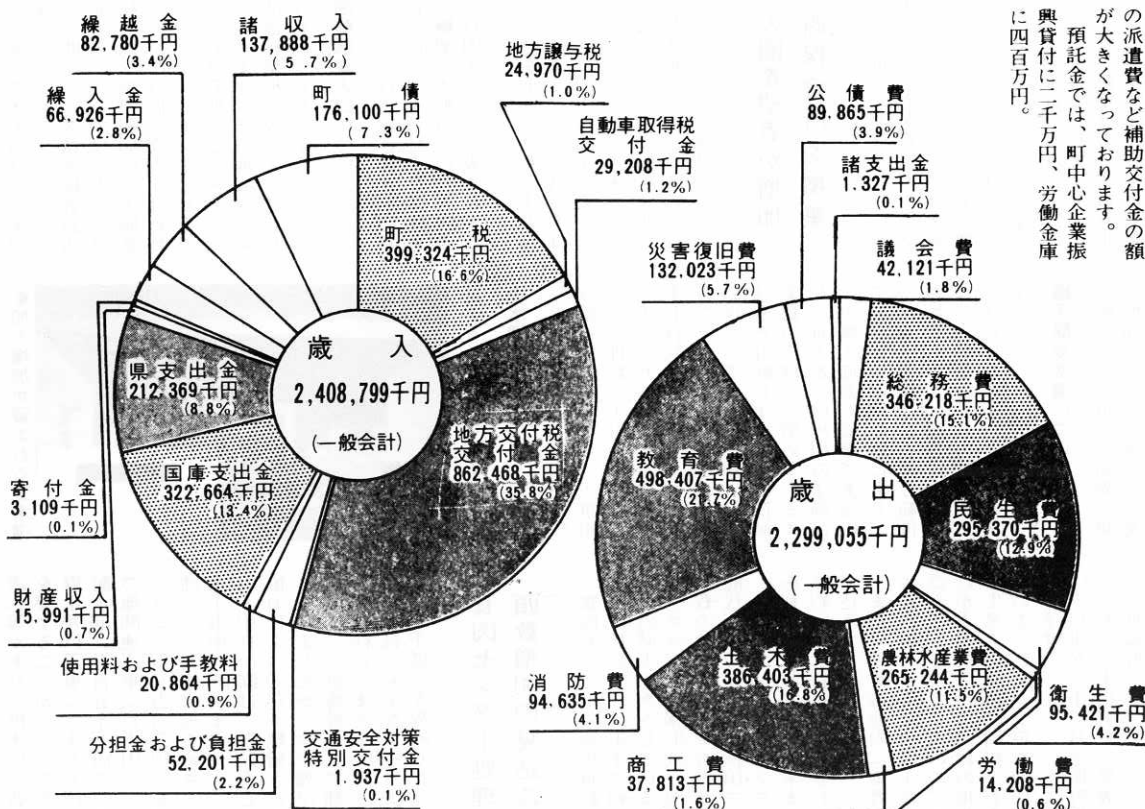
歳出では、教育費が四億九千八百四十万七千円で、全体の二十一・七%でトップ、以下、土木費の三億八千六百四十万三千円、総務費三億四千六百二十一万八千円、民生費二億九千五百三十七万七千円、農林水産業費二億六千五百二十四万四千円などが、歳出に占める割合が十%台となっています。

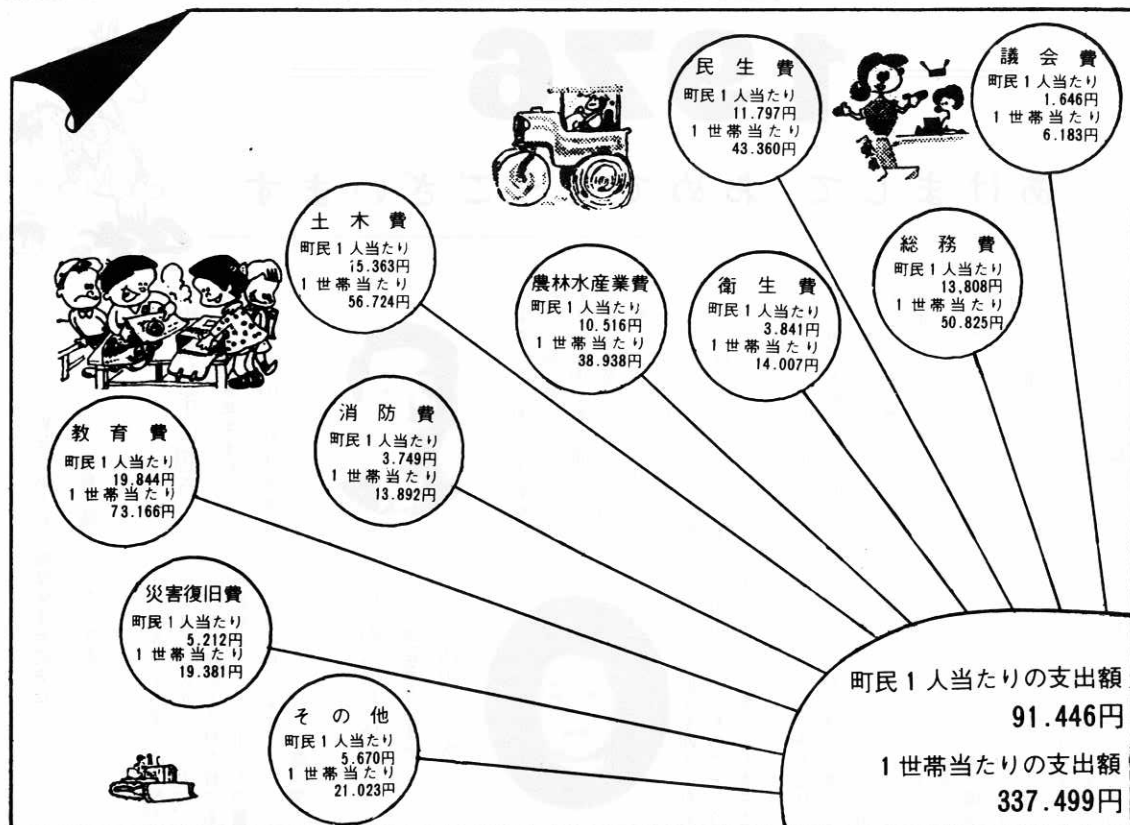
主な建設事業では、住宅建

設に一億二千二十五万一千円、舗装新設八千四百三十二万七千円、道路維持修繕三千八百四十万五千円、道路新設三千六百二十二万七千円、橋梁新設一千七百八十一万六千円、鷹小体育館建設七千四百八十八万四千円、その他竜森小給食屋などに一千七百三十四万九千円、町民球場建設二千二百三十三万四千円、栄地区生活改善センター一千七百四十一万七千円、東保育園建設二千六百三十三万五千円、林道開設一千八百三十八万六千円、緑ヶ丘簡易水道九百五十一万五千円、災害復旧では、農業に八千六百六十四万二千円、公共土木に四千五百三十七万八千円。

福祉関係では、老人福祉に一千四百四十八万一千円、医療給付六千三百六十七万九千九百円、児童措置費九千八百二十五万五千円、町立保育園関係二千九百三十万三千円、ごみ集取関係五千六百三十三万三千円。補助および負担金関係では、畜産関係に七千六百七十九万九千円、農業振興一千四百七十七万七千円、広域消防七千四百三十一万五千円、衛生施設組合九百八十八万五千円、ガケ地および災害住宅移転五百六十三万三千円、種苗交換会五百万などのほかに、教育費

の派遣費など補助交付金の額が大きくなっております。預託金では、町中心企業振興貸付に二千万円、労働金庫に四百万円。





町民一人当たりの税負担額 一万五千八百八十三円
一世帯当たりの税負担額 五万八千六百二十円

四十九年度に、みなさんから納めていただいた町税は三億九千九百三十二万四千円で、歳入全体の十六・六％。四十八年度の三億三千八百三十二万六千円より額では上回っておりませんが、歳入全体に占める割合は、四十八年度の十九％より下回っております。

四十九年度の町税総額は、今年三月末現在の人口二万五千百十四人、六千八百十二世帯でみると、町民一人当たりの税負担額は一万五千八百八十三円、一世帯当たりは五万八千六百二十円となっております。

これに対して一般会計歳出総額をみますと、上の図で示すように町民一人当たり九万一千四百四十六円、一世帯当たり三十三万七千四百九十九円の支出となっております。

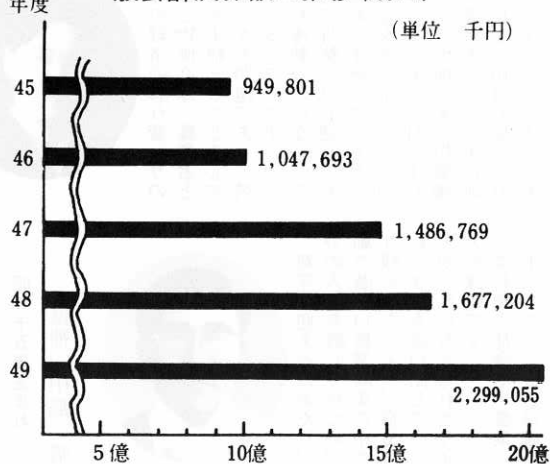
町民一人当たりの町税負担額の内訳は、次のとおりです。

町民税	六、四三二円
固定資産税	六、二八二円
軽自動車税	二九二円
たばこ消費税	一一六八六円
電気税	八四七円
木材引取税	二二七円
特別土地保有税	一〇七円
合計	一五、八八三円

会計別決算総括表

会計区分	歳入総額	歳出総額	残 額
一般会計	2,408,799	2,299,055	109,744
国保会計	428,748	416,686	12,062
綴子簡易水道会計	13,136	11,657	1,479
宅地開発事業会計	74,280	73,835	445
綴子財産区会計	46,077	23,437	22,640
坊沢財産区会計	27,283	21,392	5,891
七座財産区会計	166	153	13
栄財産区会計	29,263	28,806	457
沢口財産区会計	6,396	2,103	4,293
七日市財産区会計	56,839	43,026	13,813
と畜場会計	9,862	9,861	1
土地取得会計	395	395	0
計	3,101,244	2,930,406	170,838

一般会計決算額の推移(歳出)



1976

あけまして おめでとうございます



生まれ年に思う

大正五年生まれ

太田 松尾義四郎

新年にあたり 辰年生まれの方に、
抱負を語っていただきました。

社会に寄附する多くの人材が出てほしいと祈るとともに、その様な機会と人材を育てあげますように、同年の土の奮起をお祈りします。
(農業)



年のはじめに

大正五年生まれ

坊沢 高坂 タミ



生まれ年に因んだ人名を見れば、辰(竜)の字のつく人が十二支中でも一番多く、古くから竜の如くとか申して勢いのあることに用いられています。それにあやかりたい、そう育って欲しいとの親心から数多く名付けられた事でしょう。

古老の話によれば、大正の初期がケガジ年であったとかで、親の栄養不足の時期に生まれたせいとか、大正五年(辰)生まれに限り傑出した人もおられません。この地方では、重右門さんだ一人県議で活躍しているだけです。氏よ、辰年生まれの代表としてますます御健で、地域社会発展のために、大いにがんばってほしいと思います。

辰年生まれの後輩達からも、

五回目の辰年を迎え、私も随分古くなったものだ、今更のように白髪やしわをみなおしました。
小さい時から、きかん坊、男みたい、わり通しと悪口をいわれました。しかし生れ年を聞かされると、辰のために、止むを得ないと、辰のために、大目にみてもらっていました。
ことは、西保育園の環境づくりに励みたいと思います。保育園が出来てから三年経ちましたので、保育面の経営のめどはつききました。しかし、外まわりの整備がこれからの

課題です。

また昨年七月、坊沢の六十代の婦人が「あやめ会」というグループを作り、農繁期以外、月一度集まることにしました。楽しんだり、学んだり、若がえりの集まりです。この会をよい会に育てるために、どうすればよいかと、あれこれ考えております。
(西保育園長)

新年に思う

「昔と今」

昭和三年生まれ

舟見町 長岐 耕三



昨年度の国民生活白書によると戦後に生れ育った世代が約五十%も占め、大きく変わったことを発表している。私も昭和生まれ、四度目の生まれ年である。

さて、現代は金さえたせば何でも入手できる時代である。戦後三十年の間に物の考え方、使い方は大きく変化してきた。生産、消費、消費で成長した昨今だが、近年は資源の保護、節約の時代となった。しかし、消費の積重ね時代には育った若い人にはピンとこないのではな

いかと思う。

「もったいない」という言葉で現代の若い人に話しても通用しないことが多い。何でも手に入り完備された生活に慣れた人には、昔の戦中戦後の生活は想像できないことと思う。

ひと昔前のことを現代の人に強いる必要はないが、物を大切にすることを、もう少しみんなであらうものだ。
(会社員)

新年にあたって

昭和三年生まれ

横瀬 千葉ヤエ子



昨今の経済の移り変わりの激しさと物価高は、農業者としてまた主婦としてどうして対処すべきか問題であり、苦慮しているところだ。

米価も運動のかいなく、この不況の時勢には心通りのものではありませんでしたが、一応決定をみ、ホツとしたのもつかのま、あの八月二十日の大洪水で田畑や家、作業場、農機具等があつというまに泥の海と化し、田は石原となり、どうしてよいやら途方にくれ

てしまいました。もう農業もやめようかとも思いましたが皆さまであたたかい言葉は聞き流さず、心も立ち直り、今年四回目の生まれ年を迎えました。

昔からの言い伝えによりますと、辰年には飢饉なしと聞いておりますので、今年こそは何事もなく、豊年万作でありますように念じています。

去年は可愛い初孫も誕生し、孫の子守りを引き受けながら、今年の計画をあれもこれもと考へながらはきつています。みなさまにとってもよい年でありますように、お祈りいたします。
(農業)

新年に期待

昭和十五年生まれ

脇神 中島 靖雄



新年を迎えるにあたり、自分の人生を厳しく見つめ、流動の激しい農業政策の中でとり残されないよう、自分の進むべき道をみい出していくことが、私に与えられた今年最大の課題です。

ゆれ動く社会で、農業一本で生活していくことは確かに

大変なことではありますが、大地を耕し、米を作り、そして乳牛を飼育し搾乳する。ことは、自分の将来を託すに充分魅力のある仕事だと思っています。

三回目の生まれ年を機会に「他力本願」的でなく、地域社会の中核になり、皆さんと一緒に手を握りながらがんばりたいと念願します。

辰年生まれの皆さん、今年こそは新年を迎え心機一転し、家庭生活にまた豊かな社会づくりに一段と努力することを誓い合おう。(農業)

年頭にあたって

昭和十五年生まれ

桜木町 小林 紀子



二度目の童年を迎え、改めて自分の周囲を見まわすと、いつのまにか毎日十五人の家族と従業員に囲まれた日々を送っていることに、しみじみと思いいたります。

ふと、前の生れ年をふり返り、十二年間のあまりの寒さに、自分ながら驚いてる今日この頃です。

両親、主人、子供達三人の

歯車として、また、家業の責任の重大さにあらためて身の引きしめる感じがいたします。家族と従業員の理解のもとに、ラケットを握りバドミントン教室に通う時、日常の苦労やストレスを、忘れることが出来ず。それにしても中年ぶりのきざしが消えないのは、どうしたことでしょう。バランスとはむずかしいものどつくづく感じます。ちよとした配慮の足りなさが、次男の悪さをさそったり従業員への配慮をかいいたり時には、両親や主人の健康状態をくるわせたりいたします。十五人それぞれの日常の歯車と、自分自身の心身のためにも、今年はバランスのとれた童年でありたいと念じております。願わくば、バランスある社会を。(主婦)

新年を迎えて

昭和二十七年生まれ

綴子 堀内 志朗



私にとって二度目を迎えた辰年の新春の光は、私を沸き立てるように光輝いている気がします。

五年前に一人の社会人として都会へ憧れて行きましたが、体をこわして三年間で帰ってきました。ふるさとの良さを、すばらしさを、い実感として感じています。私にとって都会とはなかつた自分になさけなさを覚えるのです。今年こそ、自分に厳しく、仕事や青年会活動など、何事にも若さと努力と積極性をぶつけ、一年間を過ごしたいと思っています。

このような社会情勢の中では、ひとかけらの存在にしかすぎない私みたいな人間でも、雨垂石を穿つたのとえにならって、この言葉を肝に命じ一人の若者として、せいっぱい自分の力ためして見たいと思います。(会社員)

新春を迎えて

昭和二十七年生まれ

今泉 仲村 唱子



狂乱の世をのりこえたかのように思われましたが、まだまだ不況のニュースが続き、重くしさを残して新年を迎

えました。

この一年、輝くような希望に満ちた年であるように祈っております。

日頃、雑事に追われ、自分というものを冷静に見きわめる機会が少なかった私でしたが、いろいろな体験を積みながら、早や二回目の生まれ年を迎えよう。しかし、世の中がどう変化するか全く予測がつかない現在、人間として顔や頭のよさの優秀ではなく、人を愛し、人に愛される温かい心、優しい心をもった豊かな人間になりたいという気持ちでいっばい。

今年も決して暮らしたい年とは思われませんが、これまで、生活してきた事をもとにし、登り竜のごとく強い信念を持って精一杯がんばって行きたいと思っています。(会社員)

ぼくの千支を迎えて

昭和三十九年生まれ

西小五年 熊谷勝也



ぼくはたつ年生まれです。今年はこちらのたつ年に

あたりぼくが生まれてから初めて迎える千支の年なのです。「たつ」といえば昔の人たちが強さやたくましさを感じて考えだした動物だと聞きます。ぼくはこのたつ年に生まれたことを、ほこりに思っています。

今年は西小五年の最上級生として大いに活躍しなければなりません。

ぼくは先輩の楽しい数々の業跡を受けつぎ、体力づくりや学力の向上はもちろん心身の健康をめざして一生けん命がんばりたいと思っています。

昨年西小は全県小学校バレー大会で男女共優勝し、また全県健康優良児や優良校等と立派な成績を残しました。ぼくたちもみんな力を合わせこれまで以上に、がんばっていききたいと思っています。

今年の希望

昭和三十九年生まれ

竜小五年 近藤裕子



今年は、私の年です。この竜森小学校の子どもの名まえも「たつの子」です。私の年と、竜森小学校の子どもの名まえの、どちらにも「たつ」がきます。だから特に、今年には、はり切らなければなりません。六年生になったら、中学校へ行く準備をしなければなりません。特に私の一番得意な理科は、遊ぶひまもなく勉強したいと思っています。

体をきたえるために、スポーツでは、よく体を動かすボールゲームをがんばりたいです。それに私は、一番小さくて、おまけにやせているので野菜には、好ききらいをつけないでいっばい食べて体を大きくしたいです。

また、最高学年になるので、小さい人たちのめんどうをよく見て、六年生らしいおちついた生活をしたと思います。



謹賀新年

サークル研修会



去る十二月十三日午後一時から、鷹巣公民館で▽グループ・サークルを作る方法と運営について、▽リーダーの心構えはどうかすればよいかなどをねらいにリーダー研修会が開催されました。

「よいリーダーと なるために」 ＝サークル リーダー研修会＝

研修会には三十八名が参加、県社教養正俊主事の集団活動を進めるうえでの留意点についての講話を聞いたあと、スポーツレク、芸文、趣味同好等、五班に分かれてそれぞれの活動目標や、会員への呼びかけ法などを話し合い、その結果を各班の代表者が発表しました。

また、当日は、実際にグループ活動をしている已駒の集いの野呂重政さん、ニューハムマーズの小板貞美さん、早起きテニスの沢田修一さんから事例発表があり、よいリーダーになるため、午後四時まで熱心に学習しました。

ママさんスキー

教室開設案内!!

教育委員会では、主婦の初心者を対象にママさんスキー教室を開設します。

期間は、一月二十二日から二月二十六日までの毎週木曜日、町営薬師山スキー場で行うもので、午前九時公民館前出発、正午帰館で往復バス輸送となっております。

申し込みは、一月十四日まで体育館(電話二一三八〇〇番)へ。三十名で打ち切りです。
なお、参加費はいりませんが、交通費の実費は負担していただきます。

スキー用具一式(スキー、くつ、ストック)で、半日四百円程度で借りることができるので、スキーのない方でも参加できます。

おむつを作って

青山荘を慰問!!

鷹巣長生き大学で

鷹巣長生き大学役員十二名は、このほど青山荘を訪れ、おむつ四百枚とたくさんのおり紙を贈り、静養中の老人に「お元気で何よりですね」とあたたかい声をかけて、語らいのひとときを過ごしました。四百枚のおむつは、寝たきりの方々に清潔な毎日を送ってもらうため、会員達が作っ



▲青山荘を慰問する鷹巣長生き大学生

て出し合ったもので、青山荘では「これが何よりの贈物です」と喜んでいました。
なお、長生き大学では、以前から児童公園の花壇の手入れや、墓地の除草、また公民館前に松を植えるなど、積極的な奉仕活動をつづけ、「役にたつ高齢者となろう」「生きがいのある生活を送ろう」と互いに励まし合っています。

催し物案内

5日(月) バレーボール、ト
レーニング教室 体育館
6日(火) 主婦の健康、室内
テニス教室 公民館
8日(木) バスケケットボール
バドミントン教室 体育館
家庭電気講座 公民館

9日(金) 卓球、フォークダンス教室 体育館
生け花、地方史講座 公民館
10日(土) 書道、詩吟、文学、フラワー、謡曲、調理教室 公民館
11日(日) 全町書き初め大会 公民館
12日(月) バレーボール、ト
レーニング教室 体育館
13日(火) 主婦の健康、室内
テニス教室 体育館
15日(木) バスケケットボール、
バドミントン教室 体育館

第二回広報写真コンテスト

特選に 村井さん

(人選)

藤島貴美人(旭町)
花田 広美(福住町)
小塚金一郎(堂ヶ岱)
畠山 久徳(藤株)
藤島 浩(太田)
〔努力賞〕
斎藤 ミツ(舟見町)
〔町外特別賞〕
栗林 功(秋田市)

十二月十六日、高橋茂明教育長を審査委員長に五名の方を審査委員に委嘱、審査をお願いしたところ、結果は次のとおりでした。
応募された方に、厚くお礼申しあげます。
(特選)
村井 昭利(北小路)



賀正

除雪対策に万全の態勢!!

道路には物を置かないで

町では、冬期間の交通路確保のため、対策本部を作り除雪態勢に万全を期しています。今冬の除雪延長は、生活路線は百四十七キロに及んでおり、内二十七キロを町のグレーダー一台、ローダー二台除雪トラック二台、それに新しく購入したロータリーで、主に市内を中心に直営で行うほか、残る百二十キロを十五

業者に委託して除雪することにしてあります。

なお、降雪のあった日は、早朝から除雪作業にあたり、町民のみなさんの生活に支障のないように作業が行われますが、作業能率をあげるため、次のことについてご協力をお願いします。

▽道路に物や車を置かれますと、その部分が除雪できな



▲雪の積った朝は午前4時ごろから除雪が行われます。道路には絶対、物を置かないように!!

くなり、作業能率が低下するばかりでなく、みんなに迷惑をかけますので、路上には物を置かないでください。

▽除雪により、家の前に入った雪は道路に押し出さないので、道路の端に積み上げるなどして交通確保にご協力ください。

▽屋根から降した雪は、各家庭で責任をもって除雪、道路には出さないようにしてください。

委託による除雪担当区域と、業者は次のとおりです。

- ▽島山千吉〓摩当〓李岱
- ▽清水正光〓掛泥、太田〓糠沢、高野原
- ▽中央建設〓深閑〓田中、佐戸岱、鷹中周辺
- ▽島山堅逸〓糠沢〓岩谷
- ▽沢木建設〓綴子〓松原
- ▽光建設〓坊沢〓前山、今泉
- ▽坊沢〓前山、今泉
- ▽小笠原建設〓摩当〓向黒沢
- ▽丸栄建設〓糠沢、停車場、昭和、大堤団地
- このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。ご芳志に深く感謝いたします。
- ▽品類〓宮腰耕一さんから亡妻サトさんの香典返し 三〇、〇〇〇円
- ▽有楽町〓大川貞一さんから亡父元吉さんの香典返し 二〇、〇〇〇円
- ▽岩谷〓佐藤雄雄さんから亡長男輝昭さんの香典返し 五〇、〇〇〇円
- ▽綴子上町〓堀内福二郎さんから亡母モヨさんの香典返し 二〇、〇〇〇円
- ▽妹尾館〓佐藤六郎兵衛さんから亡父運二さんの香典返し 三〇、〇〇〇円
- ▽大町〓河田貞一さんから亡母ナラさんの香典返し 三〇、〇〇〇円

香典返し

書きぞめ大会のご案内

恒例の書きぞめ大会を次により開催いたしますので、お気軽に参加くださるようご案内いたします。

日時 一月十一日午後一時から

会場 鷹巣公民館ホール

課題 自由(大きさも)

審査部門 幼児 小学校 中学校 高校 一般の五部門

入選発表 当日会場で表彰用具 用具、紙、手本など

ど一切各自持参してください。

作品返却 原則として作品はお返ししません。

作品展示 入選作の一部を公民館に十五と十六の両日展示します。

参加申込 一月九日まで公民館に申し込みください。※その他不明の点は、鷹巣町公民館におたずねください。

(電話二局一一三〇番)

読書感想文コンクール

第十一回鷹巣町読書感想文コンクールを次により行いますので、多数の応募をお待ちします。

応募資格 小学校、中学校、高校、一般の四部門

課題図書 特に定めませんが教科書、雑誌は対象とし

ない。

字数 小学校の部は四百字詰原稿用紙三枚以内、その他は五枚以内。

応募締切 五十一年一月末日

入選発表 五十一年二月下旬

表彰 最優秀賞、優秀賞、努力賞(各部門とも若干名)

応募先 鷹巣町公民館

※その他応募について不明な点は、鷹巣町公民館におたずねください。(電話二局一一三〇番)

ゴミ収集日程表

= 1月5日から3月31日まで =

1月5日から3月31日までのゴミ収集は、下記日程により行いますが、特に次の事項に注意してください。

- ①冬期間は、ポリバケツを破損しやすいので、ナイロン袋か紙袋に入れて口を閉めて出してください。
- ②祝祭日は、ゴミ収集は休みですので、集積所には絶対ゴミを出さないでください。

() 内は燃えないゴミ

町内名・部落名	1月	2月	3月
上町、下町、小田、田子ヶ沢、大堤、昭和、樽沢、大畑	6日、20日 27日 (13日)	3日、17日 24日 (10日)	2日、16日 23日、30日 (9日)
坊沢、前山、伊勢堂、今泉黒沢	7日、21日 28日 (14日)	4日、25日 (18日)	3日、17日 24日、31日 (10日)
太田、摩当、緑ヶ丘、蟹沢上野、高森岱、小ヶ田、脇神、川口、堂ヶ岱、藤株	22日、29日 (8日)	5日、19日 26日 (12日)	4日、18日 25日 (11日)
小森、中屋敷、根木屋敷、本郷、横瀬、岩脇、品類、妹尾館、中畑、大畑	16日、23日 30日 (9日)	6日、20日 27日 (13日)	5日、19日 26日 (12日)
岩谷、二本杉、松原、向黒沢、田沢、大沢、季岱、湯車	この地区は、月一回不燃物だけを回収します。 (22日) (26日) (25日)		
坊山、四渡、湯ノ岱、葛黒与助岱、三ノ渡、黒森、松沢、明利又、上舟木、下舟木、吉ヶ沢、深沢、吉野	この地区は、月一回不燃物だけを回収します。 (23日) (27日) (26日)		
舟見町、東横町、西横町、大町、学校通り、仲町、旭町、新旭町、伊勢町、南鷹巣、森館町、舟場	燃えるゴミは、毎週火曜日、木曜日 (1月5、19日、2月2、16日) (3月1、15日)		
米代町、花園町、東旭町、西旭町、西仲通り、栄町、元新町、桜木町、三吉町、太平町、あけぼの町、掛泥高野尻	燃えるゴミは、毎週火曜日、金曜日 (1月6、20日、2月3、17日) (3月2、16日)		
福住町、松葉町、東住吉町、西住吉町、駅前、材木町、東仲通り、北新町、末広町、新松葉町、田中、新田中、南田中	燃えるゴミは、毎週水曜日、土曜日 (1月7、21日、2月4、18日) (3月3、17日)		

(11月30日現在 住民基本台帳)

総人口	25,224人	前月比
男	12,267人	13人増
女	12,957人	7人増
世帯数	6,952世帯	6人増
		18世帯増



一月の健康相談

一月の健康相談は、十四日と二十八日です。
時間は、午前十時から午後三時まで、鷹巣町公民館保健相談室で血圧測定やムシ歯予防のフッ素イオン導入法を行います。

◇ 一月の妊婦健康相談は、十九日です。
時間は、午前九時半から午後三時まで、相談場所は鷹巣町公民館保健相談室です。希望により血圧測定や検尿、衛生教育も行っております。

なお、おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

◇ 一月の乳幼児健康相談は、十四日と二十八日です。
時間は、十二時三十分から午後一時三十分まで、相談場所は鷹巣保健所となっております。

▽十四日は、五十年六月と九月生まれ。
▽二十八日は、四十九年十二月生まれと五十年三月生まれ。

年始特別警戒!!

鷹巣警察署では、明るい正

誕生おめでとうございます

荒川陽成(園己長男) 材木町
三沢暁真(勝弘長男) 駅前
尾形裕香(功悦二女) 三吉町
木村 承(茂樹長男) 深閑

12月1日〜12月15日



永井唯史(弘宣長男) 伊勢町
高橋優子(敏三女) あけぼの
沢田久美子(直儀四女) 小田
佐藤由香(貞二長女) 田子ヶ
田中 晶(吉彦長男) 東旭町
嶺脇隆史(正道長男) 南鷹巣
藤島久也(均長男) 太田
千葉・久(賢一長男) 岩脇
松尾英樹(安雄長男) 岩脇
幸坂弘子(浩二女) 旭町
幸坂史子(浩三女) 旭町
今川智文(治助二男) 藤沢
畠山友美(貞三女) 舟見町
和田匡世(健蔵二女) 西横町
大黒屋統治(久道一男) 本郷
二人の前途を祝福いたします

三藤 小成 後長 松佐 照戸 森斎 小笹 平畠 千畠
上本 原田 藤崎 尾藤 内沢 川藤 林原 川山 葉山
み武 絹三 栄清 昌昭 久梅 良幸 章け 一
治子 男子 治子 治子 慎子 均子 悟子 治子 郎
あ 森 花 小 太 田 太 前 森 材 合 小 合 南 岩 三
大 け 栄 園 ヶ 田 田 田 山 木 川 小 合 南 鷹 三
館 ぼ の 町 町 田 田 田 田 山 町 町 川 小 合 鷹 鷹 鷹
市 市

おくやみ申しあげます

堀内 佐藤 小松 成田 河田 藤島 藤原 花田 津谷 三浦 三沢 元一郎 (68)
モ運 三金 之助 (73) ナシカ (81) スエ (76) サキ (81) キク (82) トメ (80) フク (90) 大堤
(82) (73) (73) (81) (76) (81) (82) (72) (80) (90) 新田中
上妹 西前 未下 脇上 新大
町尾 横四 広舟 神中 堤
館館 町渡 町町 木町 堤

寺長 佐々木 誠 光
田崎 敦 子 猛 子 光
良 子 子 子 子
街横 森 東
道浜 吉 旭
町市 町町 町 222